

# 第9次中期計画承認の件

## 第9次中期計画・2024年度事業活動方針〈基調〉 第9次中期計画〈重点課題〉

### 1. 第9次中期計画（2024年度～2026年度）及び2024年度事業活動方針の基調

2030年ビジョンは、パルシステム神奈川の理念「生命(いのち)を愛(いづく)しみ、自立と協力の力で、心豊かな地域社会を創り出します」の実現のため、2030年に到達することをめざす目標として2020年（第21回）通常総代会で承認されました。

2030年ビジョンのテーマである「だれもが認めあい、ともにいきる地域づくり」の実現に向けて、第9次中期計画は10年間の中間点に位置し、最終4年間でビジョンを実現するために進捗度の評価と点検を行いながら、ビジョンの実現に向けて本格的に展開する3年間となります。

第8次中期計画（2021年度～2023年度）で取り組んだ事業と活動は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けながらも着実に取り組みをすすめ、組織として成長を遂げることができました。一方で、コロナ禍以降人々の生活や事業環境は大きく変化し、対応力が求められています。

2024年度以降は、人口減少やコロナ禍後の宅配需要の鈍化、物流網の停滞や気候変動、ロシア政府によるウクライナ侵攻によるエネルギーや物価の価格高騰継続など、組合員のくらしや私たちの事業と活動に大きな影響をもたらす要因があるなか、着実に歩みをすすめるための取り組みが課題です。

第9次中期計画は、以下の視点をもってさらに取り組みをすすめます。

- ①事業と活動を通じてパルシステム神奈川に関わるすべての方に「パルって、いいね!」と感じてもらえるよう、この中期計画で掲げる7つの課題の解決に向けて取り組みます。
- ②共働き世帯の増加、あらゆる年代や性別で就業率が上昇するなか、組合員参加の減少化がすすんできました。一方、2020年からのコロナ禍によって「リアルに集う組合員参加」が激減したことを機に、参加でつくるつながりが、地域やくらしを良くしてきたことが再認識されました。組合員の生活の変化がすすんでいる状況も鑑みて現状に即した参加のあり方を検討し、組合員活動の活性化に取り組みます。
- ③組織が抱える課題構造の徹底的な分析を行い、組織改革や事業改革に着手し、いきいきと働き続けられる職場づくりと、多様な一人ひとりの力や知恵を結集し、新たな価値創造にチャレンジしていける組織をめざします。今後、事業の競争環境が一変する可能性、人手不足や賃金上昇の加速も見据えて、全国の新たな先進モデルや成長戦略についても注視していきます。

## 2. 第9次中期計画（2024年度～2026年度）策定にむけて

### （1） パルシステム2030ビジョン

「たべる」（食）「つくる」（農・産直）「ささえあう」（福祉・たすけあい）ともにいきる地域づくり  
～ 一人ひとりの行動が、持続可能な地域社会をつくり、世界の平和につながる ～

### （2） パルシステム神奈川2030年ビジョン

#### <テーマ>

「だれもが認め合い、ともにいきる地域づくり」

#### <めざす姿>

##### 1. 食と農

一人ひとりが「えらぶ・つくる・たべる」大切さを理解し、日本の安全安心な食と農を守っています。

##### 2. 暮らし・福祉

一人ひとりが、地域社会とつながり、自分らしく生きていける社会をつくっています。

##### 3. 環境

一人ひとりが、子どもたちの未来のために、限りある資源を大切にし、地球環境を守っています。

##### 4. 平和

一人ひとりが、「いのち」を尊重し、安心してくらす社会をつくっています。

#### <サブテーマ>

「パートナーシップの力で、だれもが多様性を認め合う地域社会をつくり、生命（いのち）と未来を守っています」

### （3） 実現したい事業と活動（第8次中期計画から引き継ぐ課題）

- ・ パルシステムの価値を共感と信頼で高め、広げる取り組み。
- ・ 生涯を通じて利用できる事業と活動の基盤づくり。
- ・ 助け合い支え合いの事業化と、すべての事業と活動に福祉の視点（総合福祉政策の推進）。
- ・ 地域での生産と消費を大事にし、地産地消を広げる取り組みとパートナーシップ（協同、共同、協働）を広げる取り組み。
- ・ 商品を真ん中に、食と農（産直）を中心とした組合員の参加・参画を高める取り組み。
- ・ 組合員が参加・参画できる活動を広げ、活動する組合員を増やす取り組み（組織基盤の強化）と民主的な組織運営をすすめる取り組み。
- ・ 組合員や職員がいきいきと持っている力を最大限発揮できる人材育成と、それを支える仕組みづくり。
- ・ 持続可能で、健全で安定した組織運営に必要な組織の構造改革。
- ・ 組織風土づくり（ダイバーシティ（※21）、男女共同参画）と組織開発（職員一人ひとりが自主的な行動と職員同士の有機的なつながりによって、新たな価値を生み出せる組織をめざす）。

※21 ダイバーシティ

性別や年齢、国籍、出身や背景などを越え、多様な人材を積極的に活用しようという考え方。

#### (4) 事業・活動・組織（重点課題）

##### <すすめたい事業>

- ・ 4つの事業を通じて、組合員のより良い暮らしに貢献します（供給、福祉、共済、電力）。
- ・ パルシステムの産直・地産地消の価値を高め、利用を広げます。
- ・ 「もっといい明日へ 超えてく」の浸透に向けた取り組みをすすめます。

##### <ひろげたい活動>

- ・ 2030年ビジョンで掲げためざす姿をテーマに取り組みます（食と農、暮らし・福祉、環境、平和）。
- ・ これまでの交流、新しい交流の融合をすすめます。
- ・ 新しい参加と参画で活動（組合員活動、地域活動、社会活動）を広げます。

##### <つくりたい組織>

- ・ 組合員、地域や社会から信頼され、期待される組織づくりを行います。
- ・ 誠実で透明性のある民主的な組織運営を行います。
- ・ 内部統制をすすめます。
- ・ ダイバーシティ（男女共同参画）と人材育成をすすめます。
- ・ 災害に強い組織づくりをすすめます。

# パルシステム神奈川 第9次中期計画

テーマ「一人ひとりの価値観を認め合い、誰もが安心できる地域社会づくりをすすめます」

1.

## 事業 (供給、共済、電力)

**食の安全安心を基本に、産直・地産地消商品の利用を高めます。また、組合員のくらしや地域に寄り添った持続可能な事業を構築します。**

組合員のライフスタイルに応じた事業施策をすすめる、生涯を通じて利用できる事業の基盤をつくり、パルシステムの価値を高めます。

2.

## 組合員活動

**地域の方が身近に感じられる多様な新しい組合員活動を行います。**

配送センターを中心に、気軽に参加できる環境をつくります。

また、自分の好き、楽しいが広がり、人と人がつながりあえる組合員活動をすすめます。

3.

## 食と農

**産直・地産地消を通して、生産者・消費者双方の思いを大切に交流の機会をつくり、「知産知消」を実践します。**

商品づくりに込められた思いを組合員と役職員が知り、伝えることで生産者とともに食と農と環境を守る行動につなげます。「つくる・食べる・見る・聴く」を通して食文化と命の大切さを学び、継承されていく機会をつくります。

4.

## くらし・福祉

**組合員や地域とともに、「総合福祉のありたい姿」の5つの視点に基づいた取り組みをすすめます。**

生協からの視点だけではなく、地域からの視点を大切に居場所づくりを広げ「地域連携」「福祉事業」「助け合い活動」「人材育成」「食のニーズ」に対する取り組みにより、くらしの課題解決をすすめます。

5.

## 環境

**社会全体の環境負荷軽減をすすめる意識を高め、一人ひとりが自ら行動できる仕組みづくりに取り組みます。**

幅広い層の組合員の関心を引き出す環境保全活動や、資源の回収などを通じて資源循環の仕組みを提案します。また、再生可能エネルギーや次世代環境対応型トラックの導入により、事業上で発生するCO<sub>2</sub>削減をすすめます。

6.

## 平和

**誰もが平和を身近に感じられ、社会課題に向き合うアクションを起こす機会をつくり、組合員とともに平和な社会を広めます。**

多様性を尊重し、さまざまな人が身近なくらしから考える平和の学習会・体験に取り組みます。他団体と連携し、組合員も参加しやすい取り組みをすすめます。

7.

## 組織運営

**組合員が願う地域社会を実現するための経営基盤をつくります。**

変化に対応し、地域に根ざした組織運営を行います。人が育ち、多様性がいかされる職場環境をつくります。持続可能な事業と活動を支えるための経営方針の策定や経費構造の見直しに取り組みます。リスク管理を強化して、健全な運営を行います。

行政機関への届出の際、訂正を求められた場合、議決の本旨を変えない字句の訂正等は理事会に一任願います。